

もっと障がいについて理解を深めるために ともに暮らす地域交流会V

日時 2013年11月17日(日)

10:00~12:00 事前学習会 参加者数:16名

13:00~17:00 地域交流会 参加者数:49名

場所 西部地域福祉センター 第1~3会議室・研修室

“ともに暮らす地域交流会”は、佐倉市障がい者団体等連絡会とV連共催で、今回で5回目の開催です。障がいのある人もない人も、ともに暮しやすい社会を目指しています。

第1部で身体に障がいのある方の暮らし方や日常の困りごとなどの発表と車いす体験学習、第2部で5つのグループに分かれて話しあいを行いました。ボランティアの皆さんには、車いす体験のサポーターになっていただきました。そのために、当日の午前中の事前学習会から参加いただきました。

<事前学習会>

- “身体に障がいがある方”を想定した車いす体験学習のサポーターの養成のための事前学習会です。

[体験学習の内容]

- ・足などに障がいがあるために移動手段(生活手段)として車いすを利用する場合の体験学習です。(足が使えない、足に力が入らないことが大前提です。)

- ・体験コースを4コース設定;①斜路の自走体験、②自動扉の通過、エレベーターの乗り降りの自走体験、③S字コースの前進・後進の自走体験、④車いすから椅子への移乗体験

※ボランティアの皆さんには、安全確認のための見守り、体験内容の適切な指導・アドバイスをお願いしました。事前学習に真剣に取り組み、実際の「車いす体験学習」を事故なく楽しく過ごすことができました。



<地域交流会>

第1部: 身体障がいのある方の暮らし方や日常の困り事などの発表

佐倉市身体障がい者の会 大久保和夫氏

[大久保さんのお話の要約]

身体障害者手帳2級をもっています。佐倉で30年以上ボランティア活動をしています。

24才の時、仕事中の爆発事故(労災)、3日間、意識不明のまま気が付けば左足下腿切断2分の1、右手機能全廃、ものすごい激痛でした。いままで当たり前でできた、起き上がる事も歩く事も文字を書く事もできない。社会復帰は絶望だと思い、死ぬ事ばかり考えていました。立ち直るきっかけは、子どもが存在が大きかったです。子どものために頑張ろうと思う気持ちがわきあがりました。

現在は千葉県県の広域専門指導員をしています。相談事案の多くは、障がいを知らないことが問題を大きくしているケースがほとんどです。すべては相手の話を聞くことから始まります。障がいがあるから助けようでは無く。まずは相手が、どんな事に困っているのかを聞いて、その困り事を一緒に解決することではないかと思います。皆さんが「人を思いやる気持ち」があれば住みやすい地域になると思います。



●車いす体験学習

ほとんどの方が初めての自走式の車いすの体験です。

[分科会での声]

- 坂道が怖かった。
- 車いす体験は操作が難しかった。町の中では、放置自転車や点字ブロックなどがあり大変なのではないかと思った。



[アンケートでは]

- とても分かりやすく、少しのヒントが楽に車いすを動かすコツになった。目線が幼児と同じ位置でくわえたばこが危ないことに気づかざるなど、体験することの大切を知る。
- 実体験は初めてで、移動の困難さが分かった。
- 障害者の立場になって考えることができた。

第2部：分科会 5グループに分かれての意見交換

[主な意見]

- 発表者の方のどん底から立ち直った話は感激しました。相手の立場になって考える事が大事だと思いました。
- 健康であることが当たり前だと思っていたのが、実は本当は幸せなことだと思いました。発表者の方に障がいがある事に今まで気が付きませんでした。私自身は障害のある方と接することは苦手だと思って避けていました。「苦手意識」を捨てる。まずは挨拶から始めてみて相手を少しでも理解しようとする気持ちが大切であることに気が付けました。
- 身近にいろいろな人がいることが良く分かった。障がいのある人の事を考えて施設が作られていない。理解することが第一歩。声かけが大切。怖がらず、恐れず声をかけていく。
- 健常者と障害者の溝は思いのほか深いと感じた。意見交換のグループの中に知的障害のあるお子さんがいる方がいて、30年前自分の子どもを育てていた時と福祉をとりまく環境が変わらないとおっしゃるのを聞いて非常に驚いた。
- 神奈川と千葉ではリハビリ施設や訓練が違うということを知った。千葉を発展させるには当事者がもっと声をあげることが必要だと思いました。ボランティアに関心のある人はたくさんいます。そういう人をひっぱりあげるには、地域のコーディネーターやネットワークづくりが大切です。ボランティア自身の勉強も必要だと思いました。



[アンケートでは]

- 体験したことだけで終わらず、その背景まで想像する力があるのだと思います。想像力を膨らませるワークもいいかもしれません。
- とても刺激を受けました。相手を知る。立場を知る。理解することの大切さ。そして今日自分に出来る事をしていけたら・・・と背を押して頂きました。発表者の方からは以前にも勇気を頂き今日を新たに……。ありがとうございます。

-----■-----
車いす体験学習のサポーターをしていただいた方から“楽しかったよ！”の声をいただきました。ボランティアの皆さん、朝から夕方までおつかれさまでした。地域交流会の詳細は、3月に発行（HP掲載）される「地域交流会記録集」をご覧ください。（V連）